

抽出緩衝液を抽出用チューブに加えます。

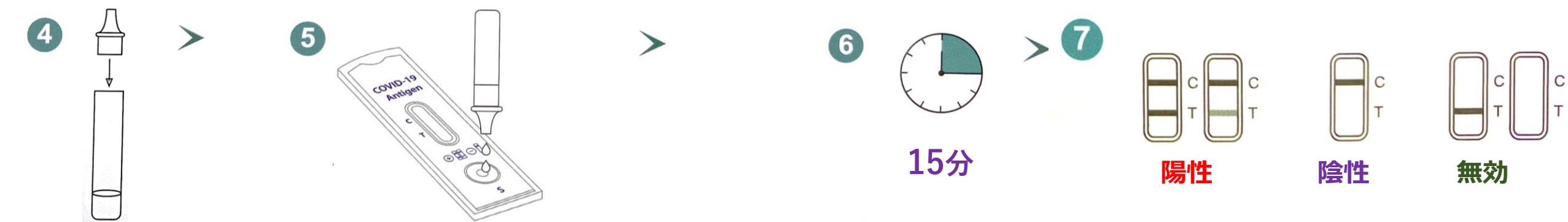
鼻咽頭スワブ検体の場合：

滅菌綿棒を鼻腔にゆっくり挿入し、抵抗を感じたところで止め、鼻壁に対して回転させ、数回擦るようして粘膜表皮を採取し、ゆっくり回転させながら引き抜きます。

咽頭スワブ検体の場合：

喉の壁の赤い部分と上顎の扁桃腺を中心に、綿棒を挿入し、両側の喉の扁桃腺と喉の壁を適度にこすります。舌に触れないようにし、綿棒を取り外します。

滅菌綿棒をチューブの壁に押し付けて、10～15回圧搾し、2分間静置します。綿棒の先をチューブの内壁に転がして、できるだけ多くの液体を放出してください。



抽出用チューブにフィルタ付きノズルを取り付けます。

抽出用チューブを軽く絞って反応カセットに2滴加えます。

15分後の結果を読みとります。



陽性： Cライン・Tラインに着色ラインが見られる
陰性： Cラインにのみ着色ラインが見られる
無効： Cラインに着色ラインが見られない、または、ラインが現れない



使用上の注意

- **本品は、体外診断用医薬品ではありません。新型コロナウイルスの抗原を検出するための試験研究用として使用することに限定されます**
- 使用前に使用説明書をよく読み、使用方法に従って使用してください
試験手順および結果の解釈に従わないと、テストの性能に悪影響を及ぼし、正しい結果が得られない可能性があります
- テスト前に検体や試薬を室温に戻してください
- 使用期限を過ぎたものは、使用しないでください
- 開封後は、1時間以内にテストを行ってください
- 本品および検体は、感染の可能性があるものとして、十分に注意して取り扱い、廃棄してください
- 緩衝液が変色または混濁している場合は、使用しないでください。また、緩衝液は、皮膚への接触をさけてください
- Tラインの色強度は、検体中に存在する分析物の濃度に依存して変化する可能性があり、色の濃淡にかかわらずいずれも陽性とみなします
- Cラインが現れない原因の可能性は、検体量の不足、操作手順の誤り、または有効期限切れのテストを使用した場合が考えられます
- 解釈が困難な弱いラインの場合には、臨床情報と併せて総合的に判断してください。
- 全ての診断検査と同様に、確定的な臨床診断は単一の検査の結果に基づくべきではなく、臨床所見および検査所見により、総合的に判断してください。